

天応西条3丁目20地区 急傾斜地崩壊対策事業

○広島県西部建設事務所呉支所

災害関連緊急対策チーム

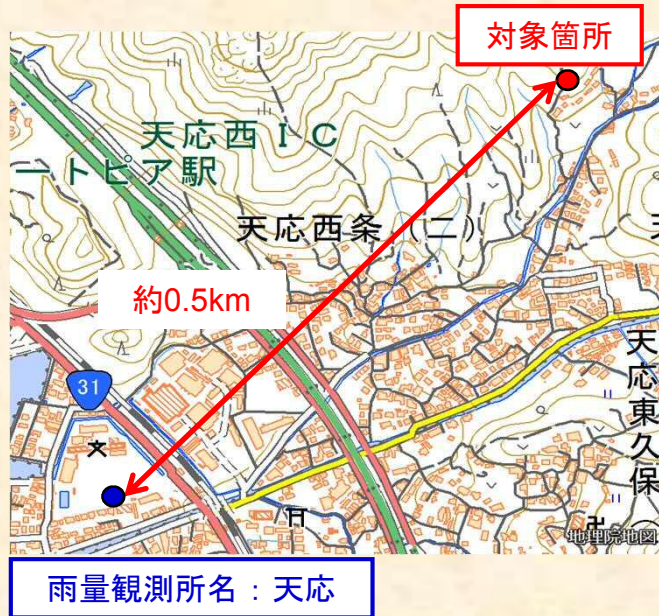
○呉市役所 土木整備課

急傾斜地整備グループ

説明内容について

- ①被災状況と急傾斜地崩壊対策事業について
- ②事業工程及び今後のスケジュール
- ③計画図面について
- ④急傾斜地崩壊危険区域の指定について
- ⑤事業用地について
- ⑥質疑応答

平成30年7月豪雨被災時の状況（降雨状況）



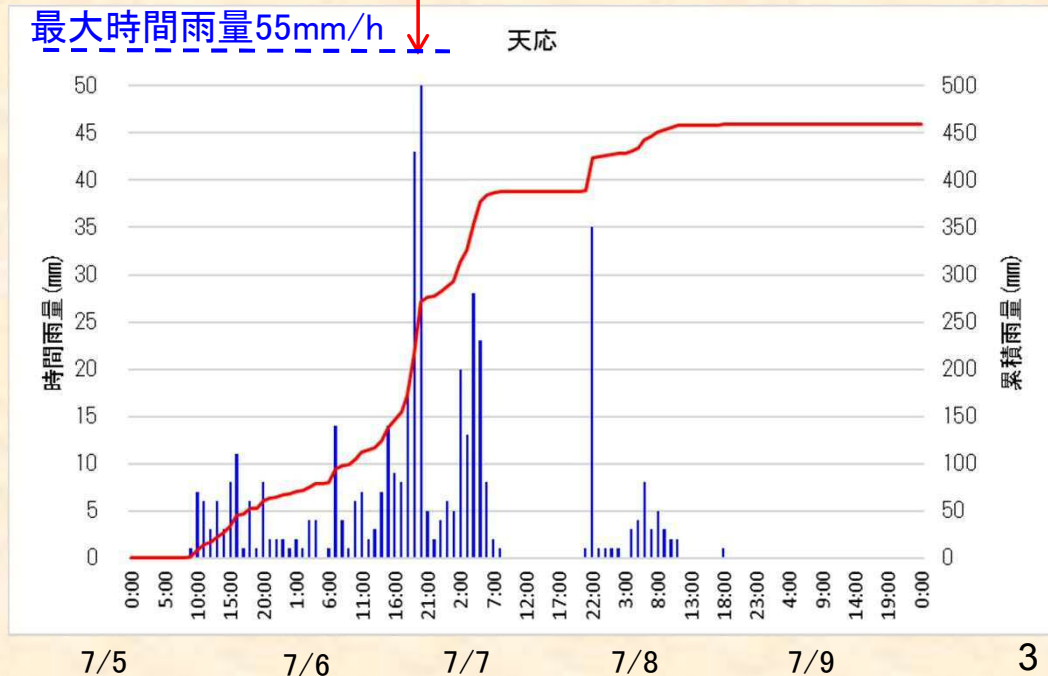
■雨量観測所名：天応

発生降雨による総雨量 459mm（7月5日9時～7月9日17時）

最大24時間雨量 298mm（7月6日5時～7月7日5時）

最大時間雨量 55mm（7月6日19時～7月6日20時）

災害発生（7月6日21時頃）



被災時の状況（天応西条3丁目20地区）



①崩壊状況

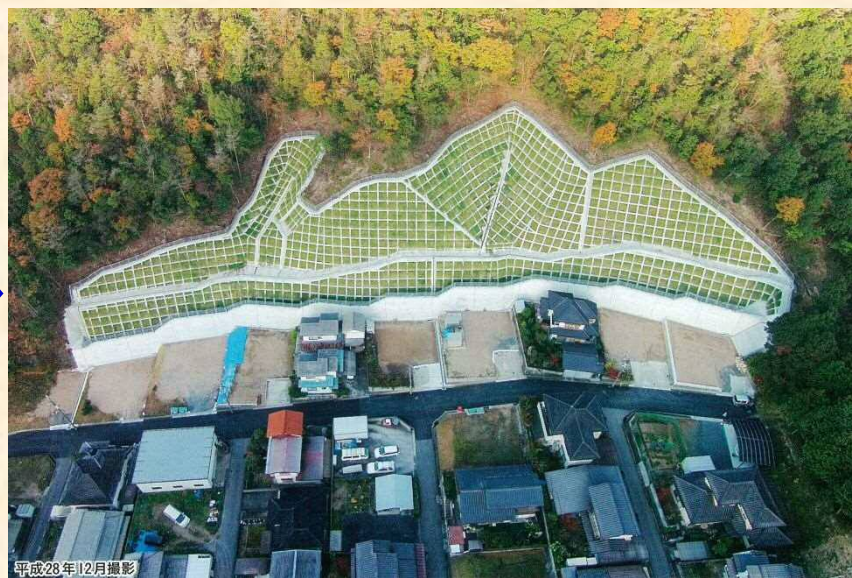
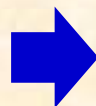
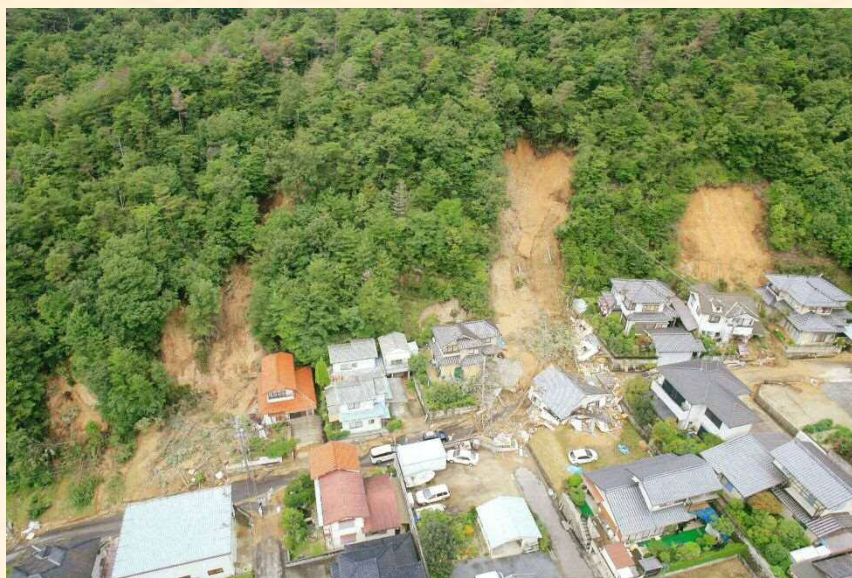


②崩壊状況

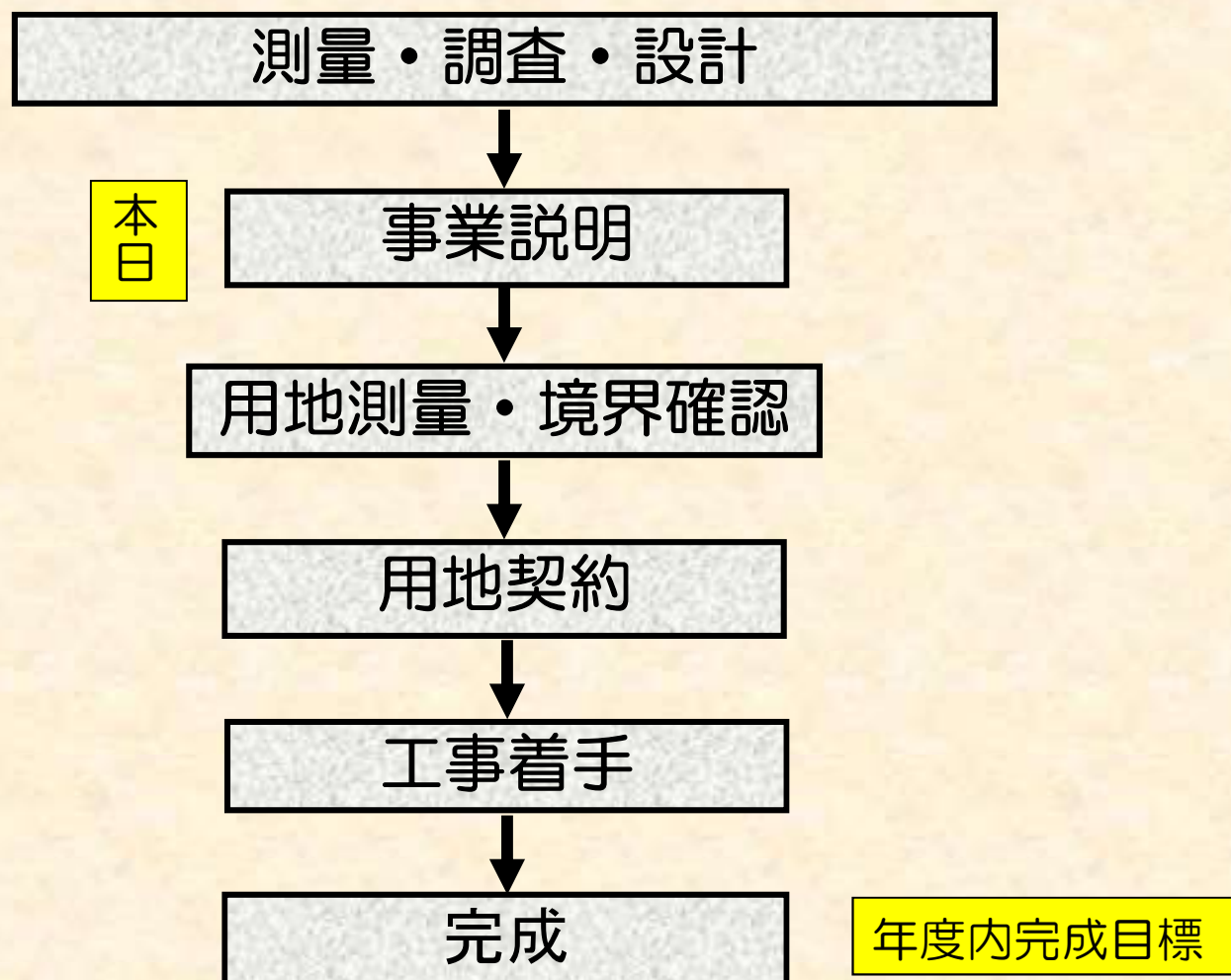
急傾斜地崩壊対策事業について

急傾斜地崩壊対策事業では，将来がけ崩れの恐れのある斜面に対する対策を実施しますが，災害関連事業では，豪雨災害に伴い発生したがけ崩れの起きた斜面に対して，緊急的に対策工事を実施します。

急傾斜地崩壊対策事業の実施例（H26）

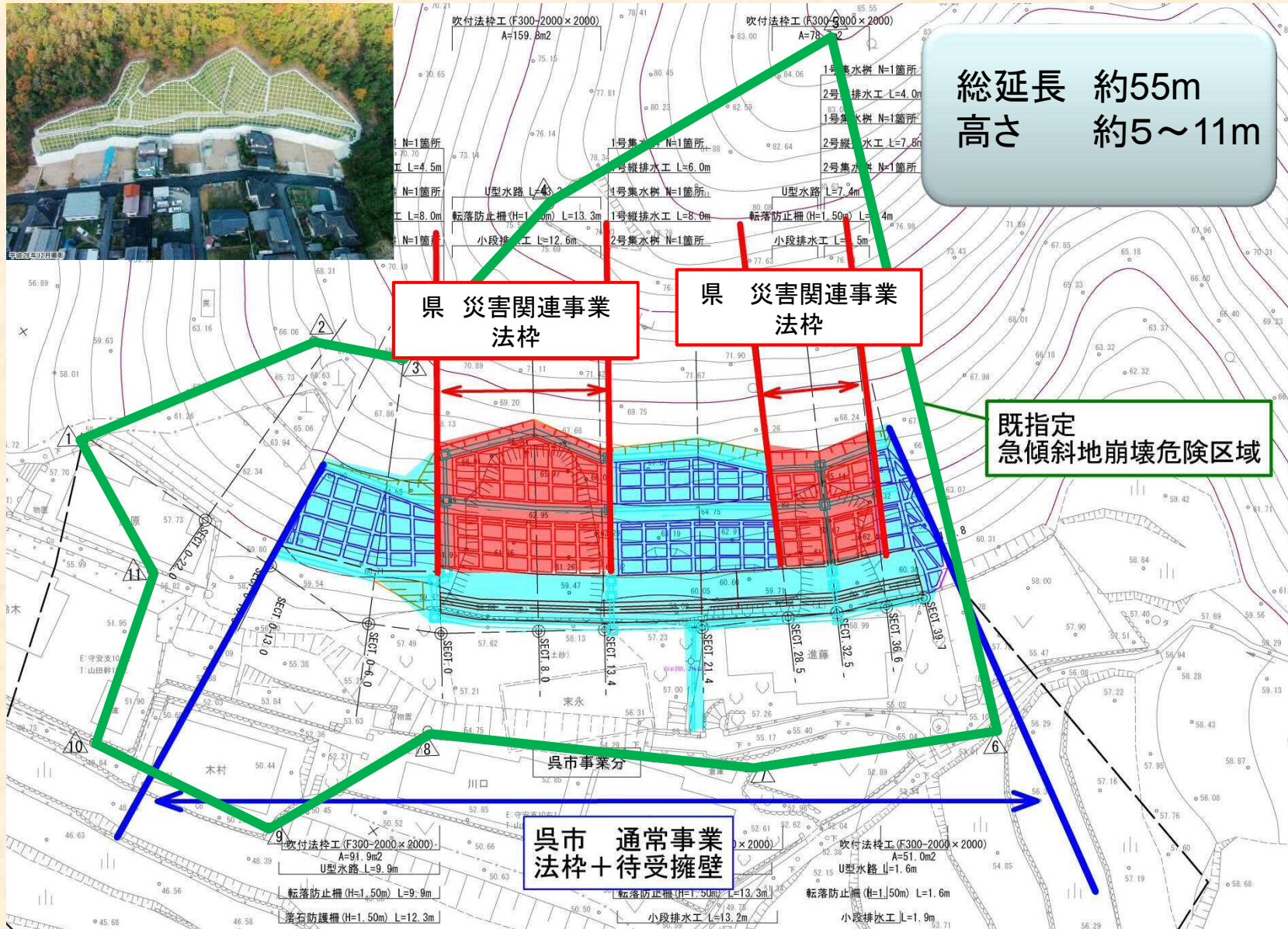


事業工程および今後のスケジュール

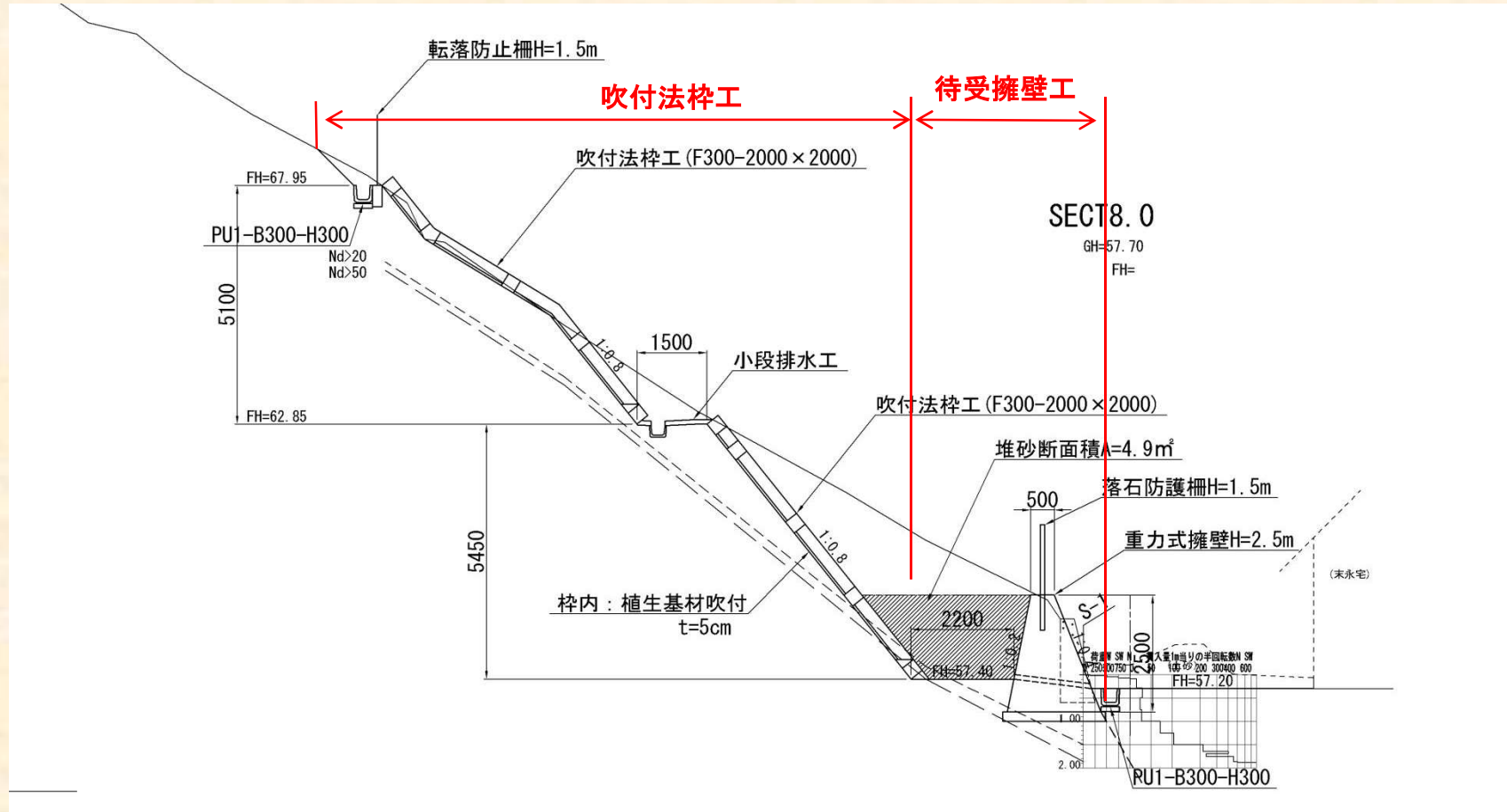


計画図面について

平面図 (県と市の事業範囲について)

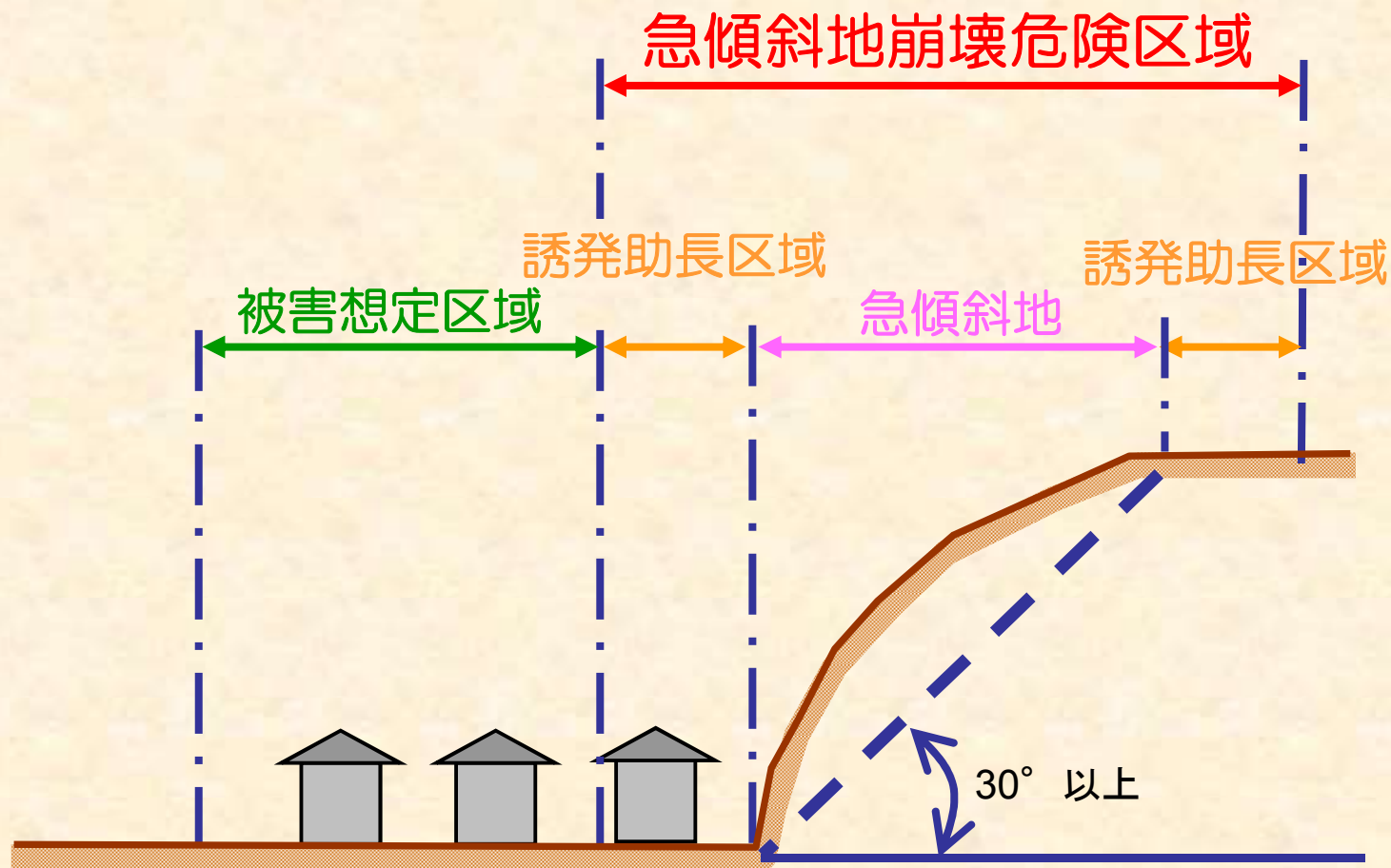


横断図



急傾斜地崩壊危険区域 の指定について

【急傾斜地崩壊危険区域】の指定が必要



※誘発助長区域：急傾斜地の崩壊が助長され、または誘発されるおそれのある区域

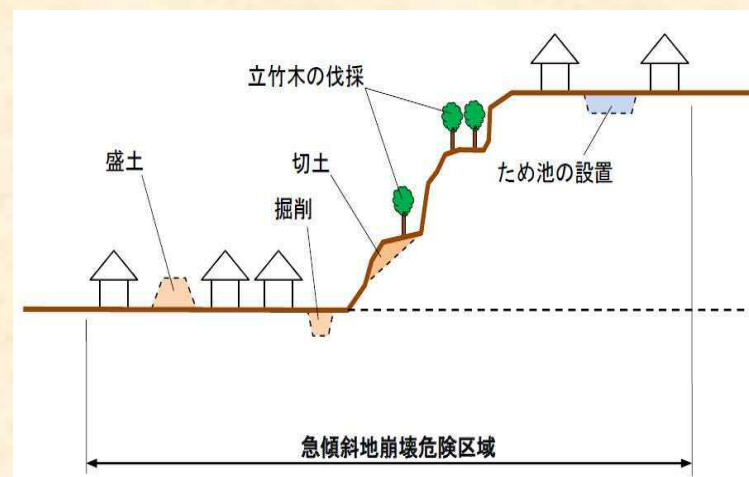
※被害想定区域：急傾斜地の崩壊により被害を受けるおそれのある区域

【急傾斜地崩壊危険区域】の指定には、土地所有者の同意が必要となります。 11

【急傾斜地崩壊危険区域】における制限行為について

【急傾斜地崩壊危険区域】においては、次に掲げる行為は広島県知事の許可が必要となります。

1. 水を放流し、又は停滞させる行為や水の浸透を助長する行為
2. ため池、用水路等の急傾斜地崩壊防止施設以外の施設又は工作物の設置や改造
3. 法切、切土、掘削又は盛土
4. 立木竹の伐採
5. 土砂の採取又は集積
6. 木竹の滑下又は地引きによる搬出
7. その他、急傾斜地の崩壊を助長し、又は誘発するおそれのある行為



事業用地について

事業用地について

急傾斜地崩壊対策施設の設置箇所については、使用貸借契約
(無償借地)により、県と市それぞれで土地をお借りさせていただきます。

